

昆虫を乗り物として利用する線虫

田中 龍聖 氏

(宮崎大学・学術振興会 PD)

日時：2016 年 1 月 22 日（金）16:30～18:00 頃

会場：明治大学 生田キャンパス 中央校舎 0305 教室

現在の生物学には欠かせない、最も注目されている動物のひとつが「線虫（センチュウ）」です。様々な研究でモデル生物として利用されているほか、最近では「癌の臭いを検知する」と報告されて注目を集めました。

線虫は、大半の種が体長 1mm 程度と非常に小さく、乾燥にも弱いいため、餌場から餌場への移動が大きな問題となります。そこで、線虫の一部には昆虫などを餌場への移動手段（乗り物）として利用するようになった種が存在します。これらは「便乗線虫」と呼ばれていますが、人間との直接的な関わりが少ないため、あまり研究されてきませんでした。しかし、近年になって、生物学の対象として「便乗線虫」の興味深い性質が明らかになってきています。

今回のセミナーでは、まだまだマイナーな存在である「便乗線虫」の紹介と、「便乗線虫」の中でも演者らが特に力を入れて研究しているカメムシ便乗線虫とイチジクコバチ便乗線虫について詳しく解説して頂きます。皆さま、奮ってご参集下さい。